



「良寛の句」坂本秀嵐



藤田志津香
松島智子
坂本秀嵐

三人展
— まちからかがやく —



「Again」藤田志津香

開催期間：2025年 2/14 [金] - 4/13 [日]

郷土作家企画展

藤田志津香 三人展 松島 智子 坂本 秀嵐

三人展 — 町から輝く —

2025年2月14日(金)～4月13日(日)

■ 休館日：火曜日

■ 開館時間：午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）

■ 入館料：大人500円、小中高生200円（20名以上の団体は2割引）

※子どもパスポート持参の場合は付添1名まで無料 ※「孫とおでかけ支援事業」対象施設

主催：朝日町 朝日町教育委員会（一財）朝日町文化・体育振興公社

共催：北日本新聞社

後援：北日本放送 富山テレビ放送 チューリップテレビ 新川コミュニティ放送
みらーれTV 読売新聞北陸支社 富山新聞社 北陸中日新聞
朝日新聞富山総局 毎日新聞富山支局

朝日町において、芸術文化の登竜門の位置づけとして多くの方々に親しまれ、【絵画】【書】【彫刻・工芸・デザイン】【写真】など、様々な分野の愛好者が出品しその個性を発揮する場となっているのが、今から46年前に誕生し、毎年開催される朝日町美術展である。

この美術展は今までも多くの著名な芸術家を輩出し、躍進してきた。今展ではこの朝日町美術展出品を機に素晴らしい成績を収め、現在活躍中の3名の作家を紹介する。

藤田志津香氏は、洋画のイメージに囚われない柔らかな、くすみカラーを巧みに生かし、日常の中に、ふと現れる幻想的で静寂な空気感を描写したかのような落ち着いたある作風を得意とし、他展覧会においても受賞を重ね、注目を集めている。

松島智子氏の作風は塗り重ねられた絵具(岩絵の具・顔彩)から浮かび上がる独特の文様、その上に描き出される主役の対象物から、年月を重ねながら力強さを増していく生命の息吹が感じられ、重厚感の中にもさりげなく輝く光を見出す表現が美しい。

坂本秀嵐氏は本格的に師の下で書を習い始めてから15年で【書】の部において町展大賞を2度受賞するなど驚異的な速さで実力を発揮、朝日町においては書の源ともいえる『詩文書』を学ぶ中、漢詩や仮名など、自身が「書きたい!」と感じる書体に積極的に挑戦、日々努力と自己研鑽に励んでいる。

文化の薫陶の誉れ高い朝日町が生み出した「一町から輝く」現代作家3名がそれぞれの才能を高め合うコラボレーション展となっておりますのでこの機会にぜひ、個性あふれる作品をゆっくりとご観覧ください。



アクセス 車の場合：北陸自動車道朝日I.C.より10分
電車の場合：あいの風とやま鉄道泊駅よりタクシーで15分



「或る時間 V」藤田志津香



「2016 朽」松島智子



「翔」坂本秀嵐



朝日町立ふるさと美術館

朝日町立ふるさと美術館
FURUSATO ART MUSEUM

〒939-0724富山県下新川郡朝日町横水300番地
tel. 0765-82-0094 fax. 0765-83-3636